

// 会社の概要 (2024年5月31日現在)

商号 アルテック株式会社
設立年月日 1976年5月15日
資本金 5,527,829千円
従業員数 133名 (グループ全体466名)
所在地 東京都中央区入船二丁目1番1号
住友入船ビル2階

// 役員 (2024年5月31日現在)

代表取締役会長 張 能 徳 博
代表取締役社長 池 谷 壽 繁
取締役執行役員 井 上 賢 志
取締役執行役員 于 勇
取締役執行役員 山 根 清 秋
取締役執行役員 澁 谷 博 規
取締役執行役員 奥 田 哲 太 郎
社外取締役 荒 井 敏 明
社外取締役 中 尾 光 成
社外取締役 中 辻 義 則
社外取締役 中 野 敬 子

常勤監査役 藤 田 清 貴
社外監査役 石 川 剛
社外監査役 豊 島 絵
執行役員 片 山 浩 晶
執行役員 野 上 彰
執行役員 山 部 淳

// 株式の状況 (2024年5月31日現在)

発行可能株式総数 40,000,000株
発行済株式の総数 15,153,000株
株主数 5,272名
大株主

株主名	持株数	持株比率
	株	%
日本証券金融株式会社	1,163,500	8.45
竹内猛	915,000	6.65
株式会社三菱UFJ銀行	505,920	3.67
関西チューブ株式会社	485,000	3.52
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	462,000	3.36
共同印刷株式会社	432,900	3.14
岩倉正	417,500	3.03
株式会社アルミネ	391,000	2.84
立花証券株式会社	375,100	2.72
村永慶司	281,076	2.04

(注) 1. 当社は、自己株式1,383,300株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
2. 持株比率は、自己株式1,383,300株を除いて計算しております。

// 株主メモ

事業年度
定時株主総会
期末配当金受領株主確定日
中間配当金受領株主確定日
株主名簿管理人
(特別口座の口座管理機関)
同連絡先
(郵便物送付先)

毎年12月1日から翌年11月30日まで
2月
11月30日
5月31日 (中間配当を実施する場合)
三菱UFJ信託銀行株式会社

〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (通話料無料)
電子公告により当社のホームページ
(<https://www.altech.co.jp/>)に掲載します。
ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告がでない場合は、日本経済新聞に掲載します。

公告の方法

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行) にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



この冊子は環境への配慮のため、FSC®森林認証紙と植物油インキを使用しています。

第49期 中間報告書

2023年12月1日

~2024年5月31日



ALTECH
アルテック株式会社

証券コード：9972

株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第49期第2四半期連結累計期間（2023年12月1日から2024年5月31日まで）のアルテックグループの営業の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間（2023年12月1日～2024年5月31日）におけるわが国経済は、不安定な国際情勢や円安基調等に起因する物価高騰の影響が続く状況ではあったものの、コロナ禍からの経済活動の正常化が進む中で企業収益や雇用情勢に改善の動きが見られる等、緩やかな回復基調となりました。一方、海外においては、ロシア・ウクライナ情勢および中東情勢の長期化、中国経済の成長鈍化等の下振れリスクを抱え、先行き不透明な状況で推移しました。

このような市場環境の下、当社グループは、2021年1月に策定した中期経営計画の基本方針に基づき、商社事業においては、既存商権で安定した収益を確保したうえでの周辺機器への商権拡大と提案力の向上、無人化や非接触等の社会課題の解決に貢献する商品・サービスの提供に取り組んでおります。プリフォーム事業においては、生産効率改善の推進、樹脂使用量の削減と再生素材の使用による環境負荷の低減に取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、両事業とも増収となったことにより、売上高は9,235百万円（前年同四半期比21.0%増）となりました。プリフォーム事業に関しては依然として厳しい経営環境が続いているものの、商社事業の増益により前年同四半期に比べ赤字幅が縮小し、営業損失9百万円（前年同四半期は営業損失87百万円）、経常損失1百万円（前年同四半期は経常損失70百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失71百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失123百万円）となりました。

商社事業につきましては、フレクソ印刷機、廃棄プラスチック再生処理機械、医療器具製造装置等の大型機械の検収が完了したほか、新規商権である次世代ハイブリッド会議ソリューション関連商品の販売が好調に推移したこと等により、前年同四半期に比べ増収増益となりました。

プリフォーム事業につきましては、主に飲料用プリフォームの販売数量が増加したことで前年同四半期に比べ増収となったものの、一部の工場において生産設備のオーバーホールを実施したほか、新規事業である再生ベレット・再生フレック製造事業が収益に寄与する状況に至っていないこと等により赤字幅が拡大しました。

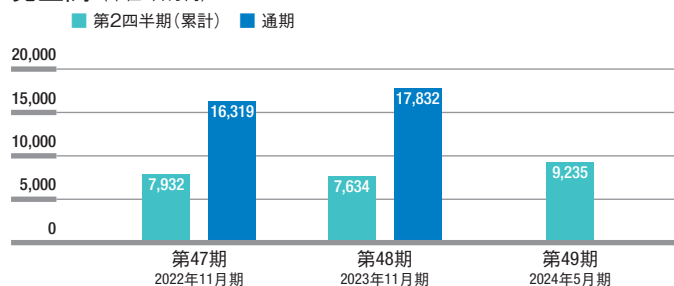
引き続き株主の皆様には一層のご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。



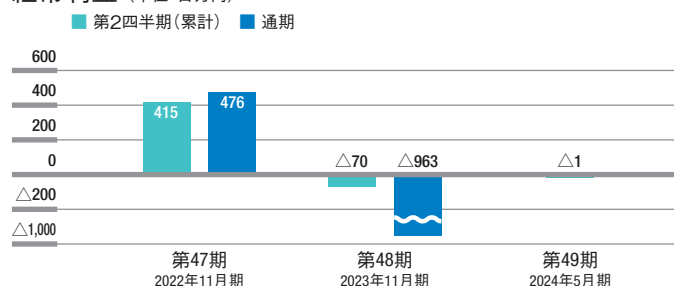
2024年8月
代表取締役社長
池谷 壽繁

連結業績ハイライト

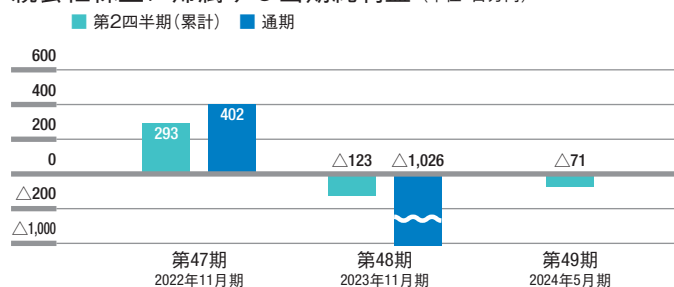
売上高（単位：百万円）



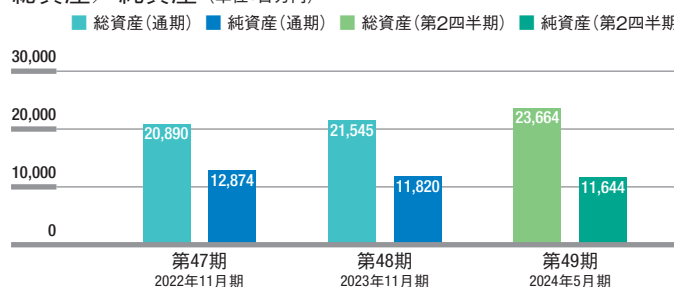
経常利益（単位：百万円）



親会社株主に帰属する当期純利益（単位：百万円）



総資産／純資産（単位：百万円）



トピックス

「PBR改善計画への取り組みの一環として「価値創造ストーリー」を作成」

当社は、資本コストや株価を意識した経営を実現するため、株価および1株あたり純資産に影響を与える主要素として、「業績」、「IR」、「財務（投資状況、株主還元等）」の3つの点を定性面と定量面から振り返り、PBRの現状を分析したうえで、PBR改善に向けた定量的な目標の設定と目標実現に向けたPBR改善計画を策定いたしました。

この実現に向けた取り組みの一環として、投資家の皆様との対話強化に向けた「価値創造ストーリー」の作成は優先度が高く、当社のビジネスモデルや、これまで培ってきた当社の強み、特徴等を整理し纏めました。今後、これらの取り組みについては進捗を定期的に公表し、投資家の皆様に対し、双方向の対話を積極的に実施してまいります。



「価値創造ストーリー」



「小型ノンステップ電気バス「e-JEST」の1号車が日本に上陸」

納入先が長野県伊那市に決まった1号車が、今年5月にトルコから日本に到着しました。到着後に品質検査や日本の保安基準確認等を実施した後、現在は、車両検査、各種動作確認、およびお客様向け仕様変更（ラッピング、内装や機器の追加等）を行っており、着々と納車に向けた準備を進めております。

「e-JEST」は、国の脱炭素成長型経済構造移行推進対策費補助金の対象車に選定され、国からの補助が得られることになりました。今後は、首都圏の自治体やバス事業者向けの試乗会等のイベントを定期的に開催いたします。お客様に「e-JEST」を实际にご覧いただき、また、運転していただくことで「e-JEST」の良さを体感していただき、販売台数の増加を図ってまいります。

